

■施策評価シート 20-01-①

まちづくりの基本目標	「魅力」あふれるまち	分野	都市形成
基本方針	都市と住環境の質・魅力向上	基本方針に関連するSDGsの目標	  
施策番号	20-01-①	施策名	土地利用の適切な誘導

施策の概要

都市基盤施設と宅地の一体的な整備を進めるとともに、都市計画法等に基づく指導等を行うことにより、適切な土地利用の誘導を図ります。

成果指標(単位)	「都市と住環境の質・魅力向上」に満足している市民の割合(%)				
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標値	(※基準値)	17.0	18.0	19.0	20.0
実績値	16.3	21.2			

成果指標実績に対するコメント

市民意識調査の結果、「都市と住環境の質・魅力向上に満足している市民の割合」は前年度に比べ4.9ポイント増加し、目標値を達成することができた。開発審査等の手続きを適正に進め、適正な土地利用の誘導に繋がった結果、都市と住環境の質や魅力に対する市民の評価が表れたものとする。

施策の達成度評価

法令に基づき一定規模以上の土地の売買にかかる届出事務を行うことにより、適正かつ合理的な土地利用の確保・誘導を図るとともに、草津市開発行為の手続および基準等に関する条例、規則などに則った開発審査事務により、良好な環境の確保と調和のとれた土地利用がなされるよう努めることができた。
今後も引き続き、法令等に則って適正に届出や申請がなされるよう周知していく必要がある。

評価に基づいた令和5年度の取組についての考え方

引き続き、土地取引にかかる届出事務や開発審査事務などを通じて、適正かつ合理的な土地利用の確保・誘導や良好な環境の確保と調和のとれた土地利用に努める。

■施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
土地取引届出勧告事務	都市計画課	○	国土法の届出制度は、適正かつ合理的な土地利用の確保を図るため、一定規模以上の土地取引について、取引段階での審査を行うものであり、令和3年度は24件の届出について、内容審査および県への経由事務を適切に行うことができた。
開発審査事務	開発調整課	○	開発行為許可申請に対して、草津市開発行為の手続および基準等に関する条例、規則等に則しているかを審査した。それらを経て、令和3年度においては61件の開発行為を許可し、良好な環境の確保と調和のとれた土地利用がなされるよう努めることができた。

■施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課
地籍調査事業	土木管理課
特定旅館建築規制事務	建築政策課
土地区画整理事業	都市地域戦略課

成果達成度の表示について

◎ 期待を超える成果があった
○ 期待どおりの成果があった
△ 期待未満の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■施策評価シート 20-01-②

まちづくりの基本目標	「魅力」あふれるまち	分野	都市形成
基本方針	都市と住環境の質・魅力向上	基本方針に関連するSDGsの目標	  
施策番号	20-01-②	施策名	良質な住宅資産の形成

施策の概要

長期優良住宅等の良質で安全な新築住宅の供給促進に加え、既存住宅の適切な維持管理やリフォーム促進により良質な住宅ストックを形成することにより、次世代にも継承される住宅資産への転換を進め、良質な住宅の安定供給・有効活用を図ります。

成果指標(単位)	住宅地などの住まいの環境がよいと感じている市民の割合(%)				
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標値	(※基準値)	72.0	73.0	74.0	75.0
実績値	71.1	69.1			

成果指標実績に対するコメント

市民意識調査の結果、住宅地などの住まいの環境がよいと感じている市民の割合は、前年度より2.0ポイント減少し、目標値を達成することができなかった。今後は、約2割の「どちらとも言えない」と感じている市民の満足度向上が課題であり、良質で安全な住宅への改修を促進する等、住まいの環境のよさを高める施策を推進する必要がある。

施策の達成度評価

新たな住宅ストックの形成は進んでいるものの、長期優良住宅等の良質な住宅の確保は未だ十分とは言えず、今後も市民等への普及啓発が必要である。また、老朽化した住宅や耐震基準を満たさない住宅、空き家等について、解体や補強、有効活用の促進を行う必要がある。

評価に基づいた令和5年度の取組についての考え方

住宅・住環境の「量」から「質」への転換に向け、引き続き耐久・耐震・省エネ性等に優れた長期優良住宅等の普及促進や、既存住宅の適切な維持管理およびリフォームの促進を行う。

■施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
建築物等確認事務	建築政策課	○	建築確認申請に適正に対応する等、特定行政庁としての事務を遂行した。

■施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課
改良住宅譲渡推進事業	住宅課

成果達成度の表示について

- ◎ 期待を超える成果があった
- 期待どおりの成果があった
- △ 期待未達の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■施策評価シート 20-01-③

まちづくりの基本目標	「魅力」あふれるまち	分野	都市形成
基本方針	都市と住環境の質・魅力向上	基本方針に関連するSDGsの目標	  
施策番号	20-01-③	施策名	空き家等の対策の推進

施策の概要

空き家等の適正管理や有効活用の促進により、防災・衛生・景観等の生活環境への影響を抑制するとともに良好な住環境を確保していくための対策の推進を図ります。

成果指標(単位)	都市と住環境の質・魅力向上に重要性を感じている市民の割合(%)				
	令和2年度 (※基準値)	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標値		49.0	50.0	51.0	52.0
実績値	47.8	57.3			

成果指標実績に対するコメント

市民意識調査の結果、都市と住環境の質・魅力向上に重要性を感じている市民の割合は、前年度より9.5ポイント増加し、目標値を大幅に達成することができた。
草津市空き家等対策計画に基づき、空き家等の発生抑制や適正管理、有効活用の促進についての啓発活動等に積極的に取り組んだ結果が、都市と住環境の質・魅力向上に重要性に対する市民意識の向上に寄与したと考える。

施策の達成度評価

草津市空き家等対策計画に基づき、空き家等の発生抑制や適正管理、有効活用の促進についての啓発活動に積極的に取り組んだ。また、空き家等所有者や管理者の資産活用や譲渡等に関する意識づけへ繋げる取組みとして、住宅の相続セミナーを開催した。

評価に基づいた令和5年度の取組についての考え方

草津市空き家等対策計画に基づき、引き続き空き家等の発生抑制や適正管理、有効活用の促進を進めるため、広報や市各種行事での啓発活動や、空き家所有者や管理者向けセミナーを開催する。
また、更なる空き家等対策を構築するため、草津市空き家等対策計画の改定を行う。

■施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
空き家対策事業	建築政策課	○	空き家等の発生抑制や適正管理、有効活用の促進についての啓発活動等に積極的に取り組んだ。

■施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課

成果達成度の表示について

- ◎ 期待を超える成果があった
- 期待どおりの成果があった
- △ 期待未達の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■施策評価シート 20-02-①

まちづくりの基本目標	「魅力」あふれるまち	分野	都市形成
基本方針	まちなかの魅力向上と地域再生の推進	基本方針に関連するSDGsの目標	  
施策番号	20-02-①	施策名	にぎわいのある市街地の形成

施策の概要

市民が生き生きと輝き、安心して暮らすことができるコンパクトでにぎわいあるまちを目指すため、公共空間の活用による都市魅力の構築、歴史的まちなみや地域資源の活用、交流の促進等により、歩いて暮らせるまちづくりを進めます。

成果指標(単位)	“まちなか”に魅力があると感じる市民の割合(%)				
	令和2年度 (※基準値)	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標値		37.0	38.0	39.0	40.0
実績値	35.2	38.9			

成果指標実績に対するコメント

市民意識調査の結果、“まちなか”に魅力があると感じる市民の割合は前年度に比べ3.7ポイント増加し、目標を達成することができた。「草津市中心市街地活性化基本計画」に基づき、“まちなか”の整備や施設・公共空間を活用したイベント等を実施した結果、“まちなか”の魅力が向上したことによる市民の評価が表れたものとする。

施策の達成度評価

「草津市中心市街地活性化基本計画」に基づき各種事業を実施した結果、新たな市民活動の拠点として令和3年5月にオープンした「市民総合交流センター(キラリエ草津)」の整備により、交流を促進することができた。また施設や公共空間を活用したイベント等を実施することができ、“まちなか”の魅力を向上することができた。

評価に基づいた令和5年度の取組についての考え方

引き続き「草津市中心市街地活性化基本計画」に基づき、施設の整備等を進めるとともに、活動の拠点および公共空間を結んだエリアマネジメントを行うことで、交流の促進等を生み出し、さらなる“まちなか”の魅力向上に取り組んでいく。

■施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
中心市街地活性化推進事業(土木費)	都市地域戦略課	○	新たな施設「市民総合交流センター(キラリエ草津)」の整備により、交流の促進等、“まちなか”の魅力を向上することができた。
都市計画推進事業	都市計画課	○	新たな都市計画マスタープランの作成や立地適正化計画届出事務により、コンパクト・プラス・ネットワークに向けたまちづくりを推進することができた。

■施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課
都市計画審議会運営事務	都市計画課
都市計画推進事務	都市計画課
市街地街づくり推進事業	都市地域戦略課
都市計画推進事業	都市地域戦略課

成果達成度の表示について

- ◎ 期待を超える成果があった
- 期待どおりの成果があった
- △ 期待未満の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■施策評価シート 20-02-②

まちづくりの基本目標	「魅力」あふれるまち	分野	都市形成
基本方針	まちなかの魅力向上と地域再生の推進	基本方針に関連するSDGsの目標	  
施策番号	20-02-②	施策名	地域の特性と資源を活かした地域再生の推進

施策の概要

新たな交流の創出、生活機能の確保や産業の振興等、さらなる活性化を図るため、郊外部における地域の特性と資源を活かします。

成果指標(単位)	まちなかの魅力向上と地域再生の推進に満足している人の割合(%) (志津・老上・老上西・山田・笠縫・笠縫東・常盤学区)				
	令和2年度 (※基準値)	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標値		15.9	16.9	17.9	18.9
実績値	14.9	17.1			

成果指標実績に対するコメント

市民意識調査の結果、「まちなかの魅力向上と地域再生の推進に満足している人の割合(志津・老上・老上西・山田・笠縫・笠縫東・常盤学区)」は、前年度より2.2ポイント増加し、令和3年度の目標を達成することができた。平成30年10月より推進している草津市版地域再生計画に基づく地域再生を目指したまちづくりに対する市民の評価が表れたものとする。しかしながら、満足度には偏り(9.6%~26.6%)があるため、継続して対象学区ごとのニーズに合わせた支援が必要である。

施策の達成度評価

草津市版地域再生計画に基づき、対象学区にて地域再生に関する検討会議や専門家を交えたワークショップを行った。また、地域再生推進協議会を開催することで、各学区間の情報共有を図るとともに、地域再生に対する機運の向上に取り組んだ。なお、笠縫東学区、老上西学区においては、本計画の実行計画であるまちづくりプランの作成・公表を行った。対象学区の地域再生に対する機運向上、活動の継続については、継続的な課題であることから、引き続き、支援が必要である。

評価に基づいた令和5年度の取組についての考え方

市民意識調査の結果は17.1%と昨年度から上昇しているものの、満足度の偏りや全体としての満足度のさらなる向上などの課題がある。これに対し、対象学区のまちづくりプランに基づく活動をさらに推進するとともに、専門機関のノウハウを活かしながら、支援団体や行政機関等を交えた検討・実践が今後も必要であるとする。

■施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
地域再生推進事業	都市地域戦略課	○	令和3年度までにまちづくりプランを策定した4学区については具体的な施策を進め、新たに2学区のまちづくりプランを作成することができた。

■施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課

成果達成度の表示について

- ◎ 期待を超える成果があった
- 期待どおりの成果があった
- △ 期待未満の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■施策評価シート 20-03-①

まちづくりの基本目標	「魅力」あふれるまち	分野	都市形成
基本方針	良好な景観の保全と創出	基本方針に関連するSDGsの目標	  
施策番号	20-03-①	施策名	自然的・歴史的景観の保全と活用、都市景観の形成

<p>施策の概要</p> <p>景観形成重点地区の活用等により、豊かな自然景観や歴史文化の薫るまちなみの保全・活用、心地よさを感じる都市景観の創出に取り組み、ふるさと草津の心を育む景観形成を図ります。</p>

成果指標(単位)	「良好な景観の保全と創出」に満足している市民の割合(%)				
	令和2年度 (※基準値)	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標値		22.0	23.1	24.2	25.3
実績値	20.9	19.0			

<p>成果指標実績に対するコメント</p> <p>市民意識調査の結果、「良好な景観の保全と創出」に満足している市民の割合は、前年度より1.9ポイント減少した。景観計画や屋外広告物条例に基づく指導に加え、東海道草津宿本陣通り景観形成重点地区の指定や、ファサード補助制度の推進などで歴史的まちなみ景観への誘導支援を図ってきたこと、また、大津市との連携施策として視点場の整備や東海道統一案内看板設置など、琵琶湖の眺望景観や東海道の歴史景観の保全・活用にむけた取組を継続してきたが、目標値には満たなかった。</p>
--

<p>施策の達成度評価</p> <p>景観形成重点地区における基準に基づき、建物や工作物の新築・改修の際により質の高い整備を求めることから、それに係る経費に対する補助制度を設け、歴史街道の景観形成に継続して取り組む必要がある。また、大津市草津市で策定したびわこ東海道景観基本計画に基づき、琵琶湖の湖岸や東海道沿道などでの景観啓発、屋外広告物規制に関する取り組みを両市で進める必要がある。</p>
--

<p>評価に基づいた令和5年度の取組についての考え方</p> <p>景観計画に基づく指導、ファサード補助制度と無電柱化事業を進めることで、景観形成重点地区の活用を推進する。また、大津市と策定したびわこ東海道景観基本計画に基づき、両市の景観計画の中に落とし込む具体的な共通項目等を検討し、景観計画改訂作業を進める。</p>

■施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
屋外広告物管理事務	都市計画課	○	屋外広告物の適正な管理と効率的な事務を行い、文書・口頭による申請指導や是正指導を進めた。
景観を生かしたまちづくり推進事業	都市計画課	○	景観計画に基づく建築物や工作物の届出について指導を行った。また、無電柱化事業を進めるため、詳細設計の策定を行った。

■施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課

成果達成度の表示について

- ◎ 期待を超える成果があった
- 期待どおりの成果があった
- △ 期待未満の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。